

# 《記載例》

## 〇〇〇株式会社 消防計画（中規模用）

統括防火管理（該当・非該当）

〇〇〇〇年〇〇月〇〇日作成

### 第1 目的及びその適用範囲等

#### 1 目的

この計画は、消防法第8条第1項に基づき、〇〇〇株式会社の防火管理について必要事項を定め、火災、地震、その他の災害の予防と人命の安全、被害の軽減を図ることを目的とする。

#### 2 適用範囲

(1) この計画に定めた事項については、次の部分及び者に適用し、守らなければならない。

ア 当該管理権原の及ぶ範囲は 〇〇ビル1階～3階の〇〇〇株式会社 部分とする。

イ 〇〇〇株式会社に勤務し、出入りする全ての者

ウ その他

防火管理業務の一部を受託している者 〇〇警備株式会社

#### 3 防火管理業務の一部委託について [ 該当・非該当 ]

(1) 委託者からの指揮命令

委託を受けて防火管理業務に従事する者は、この計画の定めるところにより、管理権原者、防火管理者、自衛消防隊長等の指示、指揮命令の下に適正に業務を実施する。

(2) 委託者への報告

受託者は、受託した防火管理業務について、定期的に防火管理者に報告する。

(3) 防火管理業務の委託状況

別表8「防火管理業務の一部委託状況表」のとおり

### 第2 管理権原者及び防火管理者の業務と権限

#### 1 管理権原者

(1) 管理権原者は、〇〇〇株式会社の防火管理業務について、全ての責任を持つものとする。

(2) 管理権原者は、管理的又は監督的な立場にあり、かつ、防火管理業務を適正に遂行できる権限を持つ者を防火管理者として選任して、防火管理業務を行わせなければならない。

(3) 管理権原者は、防火管理者が消防計画を作成(変更)する場合、必要な指示を与えなければならない。

(4) 管理権原者は、防火上の建物構造の不備や消防用設備等・特殊消防用設備等の不備・欠陥が発見された場合は、速やかに改修しなければならない。

#### 2 防火管理者

防火管理者は、次の業務を行う。

(1) 消防計画の作成（変更）

(2) 消火、通報、避難誘導などの訓練の実施

(3) 火災予防上の自主検査の実施と監督

(4) 防火対象物の法定点検の立会い

- (5) 消防用設備等・特殊消防用設備等の法定点検・整備及び立会い
- (6) 改装工事など工事中の立会い及び安全対策の策定
- (7) 火気の使用、取扱いの指導、監督
- (8) 収容人員の適正管理
- (9) 全従業員に対する防災教育の実施
- (10) 防火管理業務従事者（火元責任者等）に対する指導、監督
- (11) 管理権原者への提案や報告
- (12) 放火防止対策の推進
- (13) その他

### 第3 消防機関との連絡等

#### 1 消防機関へ報告、連絡する事項

種 別	届出等の時期	届出者等
(1) 防火管理者選任（解任）届出	防火管理者を定めたとき、又はこれを解任したとき	管理権原者
(2) 消防計画作成（変更）届出	消防計画を作成したとき、又は次の事項を変更したとき ア 管理権原者又は防火管理者の変更 イ 自衛消防隊の大幅な変更 ウ 用途の変更、増築、改築、模様替えによる消防用設備等・特殊消防用設備等の点検・整備、避難施設の維持管理及び防火上の構造の維持管理に関する事項の変更 エ 防火管理業務の一部委託に関する事項の変更	防火管理者
(3) 訓練実施の連絡・調整	自衛消防訓練を実施する前	防火管理者
(4) 消防用設備等・特殊消防用設備等点検結果報告	〇年に1回（※総合点検終了後の点検結果報告書）	防火管理者の確認を受けた後に報告する。
(5) 防火対象物定期点検結果報告	1年に1回	管理権原者
(6) その他 消防用設備等の設置届出	消防用設備等を増設、改設、移設したとき	関係者

#### 2 防火管理維持台帳の作成、整備及び保管

- (1) 管理権原者は、消防機関へ報告した書類及び防火管理業務に必要な書類等をこの消防計画とともに取りまとめて、防火管理維持台帳を作成し、整備し、保管する。
- (2) 転売等により管理権原者が変更となる場合は、防火管理維持台帳のうち竣工からの建築関係及び消防用設備等・特殊消防用設備等に関する届出書類や図面等の関係書類を確実に受け渡すものとする。

## 第4 火災予防上の点検・検査

### 1 日常の火災予防

- (1) 防火管理者、防火担当責任者、火元責任者が行う日常の任務は、別表1「日常の火災予防の担当者」と日常の注意事項のとおりとする。
- (2) 別表1は全従業員に配付し、さらに休憩室など見やすい場所に掲示する。
- (3) その他  
防火管理者は、定期的に担当者に直接質問し、担当者の任務を確認する。

### 2 自主的に行う検査・点検

- (1) 火災予防上の自主検査  
自主検査は、日常的に行う検査と定期的に行う検査に分けて行う。  
ア 日常的に行う検査は、別表2『自主検査チェック表（日常）「火気関係」』及び別表3『自主検査チェック表（日常）「閉鎖障害等」』に基づき、各担当区域の火元責任者がチェックする。  
(ア) 「火気関係」のチェックは、毎日終業時に行う。  
(イ) 「閉鎖障害等」のチェックは、1日2回行う。  
イ 定期的に行う検査は、別表4「自主検査チェック表（定期）」に基づき、各担当区域の火元責任者がチェックする。実施時期は、○月と○○月の年2回とする。  
ウ その他
- (2) 消防用設備等・特殊消防用設備等の自主点検  
消防用設備等・特殊消防用設備等の法定点検のほかに、自主点検を実施する。  
ア 自主点検は、別表5「消防用設備等・特殊消防用設備等自主点検チェック表」に基づき、防火担当責任者がチェックする。  
イ 実施時期は、○月と○○月の年2回とする。

### 3 防火対象物及び消防用設備等・特殊消防用設備等の法定点検

- (1) 防火対象物の法定点検は、○○○防災株式会社に委託して行う。
- (2) 消防用設備等・特殊消防用設備等の法定点検は、○○○防災株式会社に委託して別表6により行う。
- (3) 防火管理者は、点検実施時に立ち会うものとする。
- (4) その他

### 4 報告等

- (1) 自主検査、自主点検及び法定点検の実施者は、定期的に防火管理者に報告する。  
ただし、不備・欠陥部分がある場合は、速やかに防火管理者に報告する。
- (2) 防火管理者は、報告された内容で不備・欠陥部分がある場合は、管理権原者に報告し改修しなければならない。
- (3) 防火管理者は、不備・欠陥部分の改修及び予算措置に時間のかかるものについては、管理権原者の指示を受け、改修計画を策定する。
- (4) その他

## 第5 遵守事項

### 1 従業員等が守るべき事項

(1) 全従業員等は、避難口、廊下、階段などの避難施設と防火戸、防火シャッターなどの防火設備が有効に機能するように次の事項を行わなければならない。

ア 廊下、階段、通路には、避難障害となる物品（いす、自動販売機等）を置かない。

イ 階段等への出入口に設けられている扉の開閉（熱、煙等により自動的に閉まる扉を含む。）を妨げるように物品が置いてある場合は、直ちに除去する。

ウ 防火シャッターの降下位置又はそのすぐ近くに物品が置いてある場合は直ちに除去する。

エ 上記において物品を容易に除去できない場合は、直ちに防火管理者に報告する。

オ その他

(2) 火気管理等

ア 喫煙管理について常に注意し、火気設備器具の自主検査と合わせて、終業時等に全員が吸い殻の点検を行う。

イ 喫煙は指定された場所で行い、歩行中の喫煙は絶対に行わない。

ウ 火気設備器具は、使用する前後に点検を行い、安全を確認する。

エ 火気設備器具は指定された場所で使用する。

オ 燃焼器具等を使用する場合は、周囲を整理整頓するとともに、可燃物に接近して使用しない。

カ 危険物品は、持ち込まない。持ち込ませない。

キ その他

(3) 放火防止対策

ア 死角となる廊下、階段室、トイレ等に可燃物を置かない。

イ 物置、空室、雑品倉庫等の施錠を行う。

ウ 建物内外の整理整頓を行う。

エ トイレ、洗面所の巡視を定期又は不定期に行う。

オ 火元責任者又は最終帰宅者による火気及び施錠の確認を行う。

カ その他

### 2 防火管理者等が守るべき事項

(1) 収容人員の管理

(2) 工事中の安全対策の策定

ア 防火管理者は、工事を行うときは、工事中の安全対策を図る。

また、次に掲げる事項の工事を行うときは、消防機関に相談し必要に応じて消防計画の変更届出を行う。

(ア) 増築等で建築基準法第7条の6及び第18条第24項に基づき特定行政庁等に仮使用申請したとき。

(イ) 消防用設備等・特殊消防用設備等の増設等の工事に伴い、当該設備の機能を停止させるとき又は機能に著しく影響を及ぼすとき。

#### イ 工事人等の遵守事項

防火管理者は、工事人に対し、次の事項を周知し遵守させる。

- (ア) 溶接・溶断など火気を使用して工事を行う場合は、消火器等を準備して消火できる体制を確保すること。
- (イ) 工事を行う者は、防火管理者が指定した場所以外では、喫煙、火気の使用等を行わないこと。
- (ウ) 工事場所ごとに火気の取扱責任者を指定し、工事の状況について、定期的に防火管理者に報告させること。
- (エ) 危険物等を持ち込む場合は、その都度、防火管理者の承認を受けること。
- (オ) 放火を防止するために、資機材等の整理整頓をすること。
- (カ) その他

#### (3) 火気の使用制限

防火管理者は、次の事項について指定又は制限することができる。

- ア 喫煙場所及び喫煙禁止場所の指定
- イ 火気設備器具の使用禁止場所及び使用場所の指定
- ウ 危険物の貯蔵又は取扱い場所の指定
- エ 工事等の火気使用の禁止又は制限
- オ その他必要と認められる事項

#### (4) その他

- ア 防火戸、防火シャッターの閉鎖範囲や閉鎖位置を床面などに明示する。
- イ 避難経路図を作成し、1階の出入口付近、事務室に掲出する。
- ウ その他

## 第6 自衛消防隊等

### 1 隊の編成

自衛消防隊の編成は、別表7のとおりとし、この別表は、事務室、従業員休憩室の見やすいところに掲示する。

### 2 自衛消防活動

消火・通報・避難誘導等の担当者は、下記に示す基準により行動する。

#### (1) 通報・連絡

- ア 火災が発生したときは、各通報連絡担当又は火災が発生した者は、119番通報するとともに、周囲の者に連絡する。
- イ 事務室の勤務員は、消防機関へ通報するとともに、放送設備等により出火場所や消火・避難誘導などを指示する。
- ウ ぼやで消えた場合であっても、消防機関へ通報する。
- エ 管理権原者、防火管理者が不在のときは、速やかに管理権原者又は防火管理者へ連絡する。
- オ その他

(2) 初期消火

ア 初期消火担当は、出火場所に急行し、積極的に消火活動を行う。

イ 初期消火担当は、近くにある消火器等を用いて消火する。

(3) 避難誘導

ア 避難誘導担当は、避難経路図に基づいて、避難誘導する。

イ 放送設備、携帯用拡声器等を使用して落ち着いて行動するよう誘導する。

ウ 避難方向が分かりにくいときは、曲がり角などに誘導員が立って誘導する。

エ 避難誘導担当は、負傷者及び逃げ遅れた者の確認を行い、自衛消防隊長に報告する。

オ その他

(4) 安全防護

ア 逃げ遅れた者がいないことを確認した後、防火戸や防火シャッターを閉鎖する。

イ その他

(5) 応急救護

ア 救護担当は、負傷者の応急手当を行い、救急隊と連絡を密にして、負傷者を速やかに運ぶことができるようにする。

イ 救護担当は、負傷者の氏名、負傷程度など必要事項を記録する。

ウ その他

(6) 救出、救護

救護担当は、地震時において前(5)の任務のほか、次の活動を行う。

ア 倒壊現場付近では、消火器、水バケツ等を用意し、不測の事態に備える。

イ 救出の優先順位は、人命への危険が切迫している者からとし、多数の要救助者がいる場合は、救出作業が容易な人を優先する。

ウ その他

### 3 自衛消防隊の活動範囲

(1) 自衛消防隊の活動範囲は、当該事業所の管理範囲とする。

(2) 近接する建物等からの火災で延焼を阻止する必要がある場合は、設置されている消防用設備等を有効に活用する範囲で、自衛消防隊長の判断に基づき活動する。

(3) その他

## 第7 休日、夜間の防火管理体制

緊急連絡先 TEL (携帯) 〇〇〇 (〇〇〇〇) 〇〇〇〇、氏名 〇〇 〇〇

### 1 休日、夜間に在館者がいる場合

(1) 休日、夜間の防火管理体制

休日、夜間の勤務者は、定期的に巡回する等火災予防上の安全を確保する。

(2) 休日、夜間の自衛消防活動

休日、夜間における自衛消防活動は、勤務している者など建物内にいる者全員で、次の初動措置を行う。

ア 通報連絡

火災が発生したときは、直ちに消防機関に通報するとともに、他の勤務者に火災の発生を知らせ、さらに、防火管理者等の関係者へ速やかに連絡すること。

イ 初期消火

全員が協力して消火器、屋内消火栓設備等を有効に活用し適切な初期消火を行うとともに防火戸などの閉鎖を行うこと。

ウ 避難誘導

工事、点検等のため入館者がある場合は、非常放送設備、携帯用拡声器等を使用して火災を知らせ、避難方向等を指示すること。

エ 消防隊への情報提供等

消防隊に対し、火災発見の状況、延焼状況等の情報及び資料等を速やかに提供するとともに、出火場所への誘導を行うこと。

オ その他

2 休日、夜間に無人となる場合

休日、夜間において無人となる場合は、警備会社等からの通報により、火災発生等の連絡を受けた防火管理者等が、直ちに現場へ駆けつける。

第8 地震対策

1 日常の地震対策

(1) 地震対策を実施する責任者は、防火担当責任者の〇〇〇〇とする。

(2) 地震時の災害を予防するため、次の事項を実施する。

ア ロッカー、自動販売機等の転倒防止措置を行う。

イ 窓ガラスの飛散防止措置及び看板、広告塔等の落下防止措置を行う。

ウ 火気設備器具等からの出火防止措置を行う。

エ 危険物の流出、漏えい防止措置を行う。

オ その他

(3) 地震時の非常用物品等を確保し、有事に備えるとともに、定期に点検整備を実施する。

備蓄品目	備蓄場所
1 飲料水	事務室内
2 乾パン、缶詰	
3 懐中電灯	
4 携帯ラジオ	
5 . . . . .	

2 地震後の安全措置

(1) 地震発生直後は、身の安全を守ることを第一とする。

(2) 出火防止

火気設備器具の直近にいる従業員等は、元栓、器具栓を閉止又は電源遮断を行い、各火元責任者はその状況を確認する。

- (3) 出火状況の確認、けが人の発生状況を確認する。
- (4) 地震動終了後、防火担当責任者等は、二次災害の発生を防止するため、建物、火気設備器具及び危険物施設等について点検・検査を実施し、異常が認められた場合は応急措置を行う。
- (5) 各設備器具は、安全を確認した後、使用する。
- (6) その他

### 3 地震時の活動

地震時の活動は、前記「自衛消防活動」によるほか、次の事項について行う。

#### (1) 情報収集等

通報連絡担当は、次のことを行う。

- ア テレビ、ラジオ、インターネットなどにより、情報の収集を行う。
- イ 混乱防止を図るため、必要な情報は在館者に知らせる。
- ウ その他

#### (2) 救出、救護

- ア 救出、救護活動にあたっては、救護担当を中心とし、他の自衛消防隊員も活用して実施する。
- イ 負傷者が発生した場合は、応急手当を行うとともに、地震時の被害状況により緊急を要するときは、救護所、医療機関に搬送する。
- ウ その他

#### (3) 避難誘導等

- ア 各避難誘導担当は、在館者の混乱防止に努め、次のことを行う。
  - (ア) 在館者を落ち着かせ、自衛消防隊長から指示があるまで、照明器具などの落下防止に注意しながら、安全な場所で待機させる。
  - (イ) 在館者を広域避難場所に誘導するときは、広域避難場所〇〇町〇丁目「〇〇〇運動公園」までの順路、道路状況、地域の被害状況について説明する。
  - (ウ) 避難は、防災関係機関の避難指示又は自衛消防隊長の指示により行う。
  - (エ) 避難誘導は、在館者の先頭と最後尾に避難誘導員を配置して行う。
  - (オ) 避難には、車両等は使用せず全員徒歩とする。
  - (カ) その他
- イ 各安全防護担当は、避難通路に落下、倒壊した物品などで避難上支障となるものの除去を行う。

## 第9 防災教育

### 1 防災教育の実施時期等

防災教育の実施対象者・実施時期・実施回数・実施者は、次表のとおりとする。

対象者	実施時期	実施回数	実施者		
			防火管理者	防火担当責任者	火元責任者
新入社員	採用時	採用時	○		
正社員	〇月、〇〇月	年2回	○		
	朝礼時	必用の都度		○	○
パート・アルバイト	採用時等	採用時その他 必要の都度	○		
	朝礼時	必用の都度		○	○



## 2 自衛消防隊員等の育成

### (1) 自衛消防隊

管理権原者は、災害時において円滑に自衛消防活動を行うため、自衛消防隊の整備を図るとともに、自衛消防隊員の育成を推進するものとする。

### (2) その他

## 3 防災教育の内容及び実施方法

(1) 防災教育の内容は実施者の任務分担を定め、おおむね次の項目について教育する。

### ア 消防計画について

(ア) 全従業員等が守るべき事項について

(イ) 火災発生時の対応及び地震時の対応について

(2) 防災教育の実施方法

ア 新入社員等採用時の研修期間中に実施する。

イ 毎日の朝礼時又は就業時に合わせて実施する。

ウ その他

## 第10 訓練

### 1 訓練の実施時期等

実施月・訓練の種別は、次により実施する。

- ・ ○月に実施。(消火、通報、避難)
- ・ ○月に実施。(消火、通報、避難)
- ・ ○月に実施。(消火、通報、避難)
- ・ ○月に実施。(消火、通報、避難)

・ 特定防火対象物は、消火、避難訓練を年2回以上計画し、事前に消防署へ通報すること。

### 2 訓練時の安全対策

(1) 訓練指導者は、訓練時における自衛消防隊員の事故防止等を図る。

(2) 訓練指導者は、訓練に使用する施設、資機材及び設備等は、必ず事前に点検を実施する。

(3) 訓練指導者は、事前に自衛消防隊員の健康状態を把握し、訓練の実施に支障があると判断した場合は、必要な指示又は参加させない等の措置を講じる。

(4) その他

## 附 則

この計画は、○○○○年○○月○○日から施行する。

別表1 (第4)

## 日常の火災予防の担当者と日常の注意事項

防火管理者職・氏名		店長 ○○○○	
防火担当責任者		火元責任者	
担当区域	氏名	担当区域	氏名
1階東側	○○○○	1階東側	○○○○
1階西側	○○○○	1階西側	○○○○
2階東側	○○○○	2階東側	○○○○
2階西側	○○○○	2階西側	○○○○
3階	○○○○	3階	○○○○
担当者の任務			
防火管理者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該施設の防火管理業務の統括責任者</li> <li>・防火担当責任者と火元責任者に対し指導監督を行う。</li> </ul>		
防火担当責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当区域の火災予防について責任を持つとともに、火元責任者に対し指導監督を行う。</li> <li>・防火管理者の補佐を行う。</li> </ul>		
火元責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当区域の火災予防について、「自主検査チェック表」などに基づきチェックし、防火管理者に報告する。</li> </ul>		
従業員等の注意事項			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 消火器、屋内消火栓設備などが設置してある場所や階段、通路、出入口などの周辺には物品を置かないこと。</li> <li>2 防火戸の付近には、閉鎖の障害となる物品を置かないこと。</li> <li>3 火気設備器具の周辺は、きちんと整理整頓して、燃えるものを接して置かないこと。</li> <li>4 休憩室、事務室などから最後に出る人は、必ず火の始末をすること。</li> <li>5 従業員、職員等の喫煙は、指定された場所で行い、必ず吸い殻入れを用いて喫煙すること。</li> <li>6 死角となる廊下、階段室、トイレなどに燃えるものを置かないこと。</li> <li>7 危険物品等を使用するときは、防火管理者の承認を得ること。</li> <li>8 異常事態が発生したときは、必ず防火管理者に報告すること。</li> <li>9 喫煙場所などの吸い殻入れ、通路のごみ入れを確認するほか、吸い殻は不燃性の蓋付き水入れ容器に入れるなどして処分すること。</li> <li>10 建物内外の整理整頓を行い、ごみや段ボール箱など燃えやすいものは、決められた時間以外は、外に出さないこと。</li> <li>11 電気、ガスなどの火気設備器具のスイッチを切り、各室の安全を確かめた後に施錠すること。</li> <li>12 火元責任者は、担当区域の火気の状況を、責任を持って管理すること。</li> <li>13 その他</li> </ol>			

別表2 (第4)

## 自主検査チェック表 (日常) 「火気関係」

実施責任者		火元責任者 ○○○○			実施年月		○○年○○月		
日	曜日	実 施 項 目							
		吸い殻の処理	終業時の火気 の確認	電源の遮断の 確認	倉庫等の施錠 の確認	火気設備器具 の異常の確認	電気器具の配 線劣化・損傷	その他 (共有 部分の可燃物 の有無等)	
1	月	○	○	○	○	○	○	○	
2	火	○	○	○	○	△	○	○	
3	水	○	○	○	○	○	×	○	
4									
29									
30									
31									
(備考) 不備欠陥がある場合は、直ちに防火管理者に報告します。 (凡例) ○…良、×…不備・欠陥、△…即時改修							防火管理者 確 認		

別表3 (第4)

## 自主検査チェック表 (日常) 「閉鎖障害等」

実施責任者		火元責任者 ○○○○		担当範囲		1 階			
実 施 日 時		4/1、10時		4/1、16時		4/2、9時		4/2、17時	
実施項目		確認箇所		チェック状況		チェック状況		チェック状況	
避 難 障 害	避難口	南側出入口		○		○		○	
		東側出入口		○		○		○	
	廊 下 避難通路	北側廊下		○		△	段ボール有	○	
		事務所内通路		○		○		○	
自動火災 報知設備	受信機電源スイ ッチ		○		○		○		△ 断
備 考				段ボール箱除去 防火管理者へ報 告				スイッチ復旧 防火管理者へ報 告	
(備考) 不備欠陥がある場合は、直ちに防火管理者に報告します。 (凡例) ○…良、×…不備・欠陥、△…即時改修							防火管理者 確 認		

別表 4 (第 4)

## 自主検査チェック表 (定期)

実施項目		確認箇所	検査結果			
建 物 構 造	(1) 基礎部	・上部の構造体に影響を及ぼす沈下・傾き・ひび割れ・欠損等がないか。	○			
	(2) 柱・はり・壁・床	・コンクリートに欠損・ひび割れ・脱落・風化等はないか。	○			
	(3) 天井	・仕上材にはく落・落下のおそれのあるたるみ・ひび割れ等はないか。	○			
	(4) 窓枠・サッシ・ガラス	・窓枠・サッシ等には、ガラス等の落下又は枠自体の外れのおそれのある腐食、緩み、著しい変形等はないか。	○			
	(5) 外壁(貼石、タイル、モルタル、塗壁等)、ひさし・パラペット	・貼石・タイル・モルタル等の仕上材に、はく落、落下のおそれのあるひび割れ・浮き上がり等が生じてないか。	○			
	(6) 屋外階段	・各構成材料及びその結合部に、緩み・ひび割れ・腐食・劣化等はないか。	○			
	(7) 手すり	・支柱が破損・腐食していないか。取付部に緩み・浮きがないか。	○			
	(8) 消防隊非常用進入口	・表示されているか。また、進入障害はないか。	○			
電 気 設 備	(1) 変電設備	①電気主任技術者等の資格を有する者が検査を行っているか。 ②変電設備の周囲に可燃物を置いていないか。 ③変電設備に異音、過熱はないか。	○ ○ ○			
	(2) 電気器具	①タコ足の接続を行ってないか。 ②許容電流の範囲内で電気器具を適正に使用しているか。	△			
検査実施者氏名		検査実施日	検査実施者氏名	検査実施日	防火管理者確認	
建築構造	○○○○	○○年○月○○日	火気設備器具	○○○○	○○年○月○○日	
防火施設	○○○○	○○年○月○○日	電気設備	○○○○	○○年○月○○日	
避難施設	○○○○	○○年○月○○日	危険物施設	○○○○	○○年○月○○日	

(備考) 不備欠陥がある場合は、直ちに防火管理者に報告します。

(凡例) ○…良、×…不備・欠陥、△…即時改修

別表 5 (第 4)

## 消防用設備等・特殊消防用設備等自主点検チェック表

実施設備		確認箇所	点検結果
消 火 設 備	消火器 (○○○○年○月○日実施)	(1) 設置場所に置いてあるか。 (2) 消火薬剤の漏れ、変形、損傷、腐食等がないか。 (3) 安全栓が外れていないか。安全栓の封が脱落していないか。 (4) ホースに変形、損傷、劣化等がなく、内部に詰まりがないか。 (5) 圧力計の指示範囲内にあるか。	○ ○ ○ ○ ○
	屋内消火栓設備 (○○○○年○月○日実施)	(1) 使用上の障害となる物品はないか。 (2) 消火栓扉は確実に開閉できるか。 (3) ホース、ノズルが接続され、変形、損傷はないか。 (4) 表示灯は点灯しているか。	△ ○ ○ ○
警 報 設 備	自動火災報知設備 (○○○○年○月○日実施)	(1) 表示灯は点灯しているか。 (2) 受信機のスイッチは、ベル停止となっていないか。 (3) 用途変更、間仕切り変更による未警戒部分がないか。 (4) 感知器の破損、変形、脱落はないか。	○ ○ ○ ○
	誘導灯 (○○○○年○月○日実施)	(1) 改装等により、設置位置が不適正になっていないか。 (2) 誘導灯の周囲には、間仕切り、衝立、ロッカー等があつて、視認障害となっていないか。 (3) 外箱及び表示面は、変形、損傷、脱落、汚損等がなく、かつ、適正な取り付け状態であるか。 (4) 不点灯、ちらつき等がないか。	○ ○ ○ ○
検査実施者氏名		○○ ○○	防火管理者確認

(備考) 不備欠陥がある場合は、直ちに防火管理者に報告します。

(凡例) ○…良、×…不備・欠陥、△…即時改修

別表 6 (第 4) 消防用設備等・特殊消防用設備等《法定点検》計画表

消防用設備等の種類	点検の区分	機器点検	総合点検
消火器		○月、○月	○月
自動火災報知設備		○月、○月	
誘導灯		○月、○月	

点検設備業者	<u>○○○防災株式会社</u>
住所	<u>○○市○○町○丁目○○番○号</u>
電話番号	<u>○○○○ (○○) ○○○○</u>

別表 7 (第 6) 自衛消防隊の編成と任務

○○○○年○月○日現在

編 成		主な任務
自衛消防隊長	○○ ○○	自衛消防隊に対する指揮、命令、監督等を行う。
自衛消防副隊長	○○ ○○	隊長を補佐し、隊長不在の場合は、その任務を代行する。
通報連絡担当	(1階) ○○ ○○ (2階) ○○ ○○ (3階) ○○ ○○	1 消防機関への通報並びに情報の収集 2 館内への非常放送並びに災害現場への誘導 3 関係者への連絡
初期消火担当	(1階) ○○ ○○ (2階) ○○ ○○ (3階) ○○ ○○	1 出火場所への急行 2 消火器等による初期消火
避難誘導担当	(1階) ○○ ○○ (2階) ○○ ○○ (3階) ○○ ○○	1 出火時における避難者の誘導 2 非常口の開放並びに開放の確認 3 逃げ遅れた者の確認 4 避難上障害となる物品の除去
安全防護担当	(1階) ○○ ○○ (2階) ○○ ○○ (3階) ○○ ○○	1 火災発生地区へ直行し、防火シャッター等の操作 2 電気、ガス等の安全措置 3 エレベーター等の非常時の措置
救護担当	(1階) ○○ ○○ (2階) ○○ ○○ (3階) ○○ ○○	1 負傷者に対する応急措置 2 救急隊との連携、情報提供

別表 8 (第 1)

## 防火管理業務の一部委託状況表

〇〇〇〇年〇〇月〇〇日現在

防火対象物名称		〇〇〇〇株式会社	
管理権原者職氏名		代表取締役 〇〇〇〇	
防火管理者職氏名		店長 〇〇〇〇 印	
受託者の氏名及び住所等（法人にあっては名称及び主たる事務所の所在地）			
氏名（名称）		〇〇警備株式会社	
住所（所在地）		〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇〇号	
電話番号		〇〇〇（〇〇〇）〇〇〇〇	
受託者の 行う 防火 管理 業務 の 範囲 及び 方法	常駐方式	範囲	<input type="checkbox"/> 火気使用箇所の点検監視業務 <input type="checkbox"/> 避難又は防火上必要な構造及び設備の維持管理 <input type="checkbox"/> 火災が発生した場合の初動措置 <input type="checkbox"/> 初期消火、 <input type="checkbox"/> 通報連絡、 <input type="checkbox"/> 避難誘導、 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 周囲の可燃物の管理 <input type="checkbox"/> その他（ ）
		方法	常駐場所 常駐人員 委託する防火対象物の区域 委託する時間帯
	巡回方式	範囲	<input checked="" type="checkbox"/> 巡回による火気使用箇所の点検等監視業務 <input checked="" type="checkbox"/> 火災が発生した場合の初動措置 <input checked="" type="checkbox"/> 初期消火、 <input checked="" type="checkbox"/> 通報連絡、 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input checked="" type="checkbox"/> その他（ 定期的な巡回 ）
		方法	巡回回数 2回 巡回人員 2人 委託する防火対象物の区域 〇〇ビル1階～3階 委託する時間帯 24時～8時
遠隔 違反 方法	範囲	<input type="checkbox"/> 火災異常の遠隔監視及び現場確認業務 <input type="checkbox"/> 火災が発生した場合の初動措置 <input type="checkbox"/> 初期消火、 <input type="checkbox"/> 通報連絡、 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ）	
	方法	現場確認要員の待機場所 到着所要時間 委託する防火対象物の区域 委託する時間帯	

（備考）受託者の行う防火管理業務の範囲については、該当する項目の□にレ印を付すること。